



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

筑波大学 芸術系
助教 加藤 研

【50年後の未来の子どもたちへ夢と希望に溢れた世界を】

一昨年から、キャンドルナイトの会場デザインとチラシのデザインで協力させていただくことになりました筑波大学芸術系の加藤研究室です。

私たちの研究室では、建築・都市のデザインに関する研究と設計を行っています。下妻のまちがより元気になるように頑張ります。キャンドルナイトは子供たちの夢を育むために始められたイベントです。

今年のテーマは、「夢と希望と地球温暖化防止」。未来の子どもたちが、夢と希望で溢れた世界にいられるように、地球を豊かなまま保つことを呼びかけます。今年のグランドデザインは、「地球温暖化防止」「夢と希望と50年後の未来の子どもたち」の2つを軸にデザインしました。まず、地球をジョウロに見立て、地球の水で植物の芽が育っていく様子を描きました。また、地球のジョウロから注がれる水を植物の葉や花などに見立て「夢と希望」を表し、植物の芽はこれから育つ「未来の子どもたち」を表現しています。

地球から注がれる水（夢と希望）が植物の芽（未来の子どもたち）を育て、緑豊かで夢と希望に溢れた世界をつくることを願います。



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

茨城県教育委員会
教育長 柳橋 常喜

このたび、「夢キャンドルナイト 2024」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

また、実行委員会をはじめ、趣旨に賛同された団体、学校、地域住民の皆様が、「50年後の子ども達へ」のテーマのもと、地球温暖化問題や子どもたちの未来の夢の応援、さらにはウクライナの子どもたちへの支援活動等に継続的に取り組まれている熱意とご尽力に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、本県では「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念とした「いばらき教育プラン」を策定し、「次世代を担う人財」や「自分らしく輝ける社会」などを政策の柱にしながら、グローバル社会で活躍できる「人財」や地域社会を支える「人財」の育成のため、時代のニーズに合わせた様々な事業を行っているところです。

そのような中、幻想的なキャンドルの灯火のもと、地球温暖化、世界平和、将来の夢について、家族や友人と静かに語り合う機会を提供している本イベントは、異なる文化や価値観を理解し、多様な視点から物事を考えることができる有意義な機会になると思います。

結びに、「夢キャンドルナイト 2024」の開催が、環境問題や絆の大切さなどについて改めて考える契機となりますようご期待申し上げるとともに、本イベントのご成功と参加される皆様のご健勝とご活躍を心から祈念し、挨拶いたします。

。



MESSAGE



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

下妻市教育委員会
教育長 中山 均

「夢キャンドルナイト2024」が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。

2007年に始まった本イベントが昨年度に続き開催されますことは、関係各位のひとかたならぬご尽力の賜であり、深く敬意を表します。

本イベントの目的は、「地球温暖化問題について考える機会を提供すること」「子ども達の未来の夢を応援すること」「世界の平和を願うこと」「災害で困っている人を助けること」であります。

今年の夏は記録的な猛暑となりましたが、その要因は高気圧の張り出しやエルニーニョ現象のほか、地球温暖化が影響しているといわれています。

世界各地では絶えず争いが起きており、子どもを含めた民間人の被害も報道されています。

日本国内でも大規模な地震や大雨による土砂災害や水害などの影響により、仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方が多くいます。

私たちは、これらの大きな課題を一人で解決することはできません。しかしながら、今の子どもたちの夢を応援するため、また、50年後の子どもたちのために持続可能な社会を実現するため、皆で力を合わせ、努力していきたいと考えます。

このため、本イベントが開催され、砂沼の畔に灯された無数のキャンドルのもとに多くの人が集まり、それぞれに地球、未来、平和などについて考えることは、非常に有意義なことであると認識しています。本イベントの成功を、心より応援します。

結びに、子どもたちに夢と希望に満ち溢れた、平和な未来が開けることを期待するとともに、「夢キャンドルナイト2024」の成功と皆様のご健勝を、心よりご祈念申し上げます。



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

常総市教育委員会
教育長 岡野 克巳

「夢キャンドルナイト 2024」が、多くの方々の参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

10年以上にわたり「環境問題を地域から真剣に考え、子どもたちの夢を未来に繋げる」ことを発信するイベントを継続して開催し、また2年前からはウクライナの子どもたちへの支援の輪を広げるにあたっては、実行委員の皆様をはじめ、活動趣旨に賛同された企業、団体、市民の皆様の並々ならぬご努力・ご苦勞があったものと推察いたします。

そのご努力で、これからの時代を担う多くの若者たちが、未来を地球規模で案じ、また未来の子ども達の夢を応援することに繋がる頼もしく素晴らしい取組に敬意を表する次第です。

本イベントは「あかりを消して、スローな夜を」の合言葉のもとに、灯されるキャンドルの炎を囲むスローな時間の中で、これからの自然環境や子どもたちの夢を静かに見つめ直す豊かな時間となるでしょう。

本イベントの今後さらなる発展をご期待申し上げますとともに、参加される皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。



夢

Candle Night 2024

～50年後の未来の子どもたちへ～

MESSAGE



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

八千代町教育委員会
教育長 関 篤

「夢キャンドルナイト 2024」が多くの皆様のご尽力とご参加のもと、盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

50年後の子どもたちへという趣旨のもと、子どもたちの「夢」が展示され、キャンドルで彩られる・・・何と素晴らしいイベントでしょう。自分の将来に夢と希望をもって進んでいくことは、子どものみならず人間にとっての生きるベースです。別の言い方をすれば『意欲』ということです。

私は、『意欲』と『思いやり』をもち、そして『命』を大切にすることが、人生の大きな道標となると考えています。人は一人では生きていくことができません。自分は、大切です。他人を大切にし、思いやる心をもって生きることが社会の基盤です。つまり『思いやり』です。『命』を大切にしていってこそが生きる土台です。

地球温暖化問題を考える時、自分自身の生き方を振り返り、どう生きていけばよいかを自分なりの考えをもち、共有していくことが望まれます。世界平和を思う時、『命』のことをまず考えるでしょう。そして、どうすればいいかを問うでしょう。

持続可能な社会の実現、その実現にむけての担い手である人材の育成をするためには、SDGsの推進が不可欠です。「夢キャンドルナイト」は、まさに、このことをねらいとした事業です。そして、これらを考える絶好の機会です。このイベントが、自分自身を見つめる、見つめ直す、決意する場となることを確信します。

最後に、「夢キャンドルナイト」の成功をご祈念申し上げ、関係者のみなさまに厚くお礼申し上げ、お祝いのあいさついたします。



夢

Candle Night 2024

～50年後の未来の子どもたちへ～

MESSAGE



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校

校長 生井 秀一

「夢キャンドルナイト2024」の開催、心よりお祝い申し上げます。

社会ではデジタルの技術の進化によって、VUCA時代に突入しました。本校では、このVUCA時代を生き抜くための教育として、アントレプレナーシップを持つ生徒の育成にチャレンジしています。

今後、身に付けるべきスキルとしていくつか挙げたいと思います。

まずは「柔軟性」です。変化が激しい環境では、柔軟に考え、行動することが求められます。新しい情報や状況に応じて、自分の計画や考え方を見直す能力が重要です。次に「適応力」です。新しい技術やトレンドに迅速に対応できる適応力が必要です。失敗を恐れず、学びの機会として受け入れる姿勢も大切です。そして「創造性」です。従来のかたちにとらわれず、革新的な解決策を考え出す力が求められます。問題解決において、異なる視点を取り入れることも大切です。

そして最も大切なのが、コミュニケーション能力です。人間は一人では生きて行けません。多様な意見や価値観を理解し、効果的にコミュニケーションを取る力が必要です。チームワークや協力関係を築くためのスキルも重要です。

今回の夢キャンドルナイト2024で行われる幻想的なキャンドルの灯りの中で、様々な人を出会い、会話を通じてコミュニケーション能力を高め、思い思いに考える機会になればと思います。

将来の日本を背負う子供たちを応援するイベントとして、益々の発展を心から祈願し、ご挨拶の言葉とさせていただきます。



夢

Candle Night 2024

～50年後の未来の子どもたちへ～

MESSAGE



夢キャンドルナイト 2024 に寄せて

茨城県立下妻第二高等学校
校長 島根 千春

「夢キャンドルナイト 2024」が、昨年に引き続き多くの方々の御参加のもと、盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

例年同様、今年も本校から多くの生徒たちが、ボランティアとしてお手伝いをさせていただくとともに、本校でも地域と連携しながら課題を解決していく取り組みを積極的に進めるとともに、ボランティア精神の育成にも努めているところです。参加した生徒にとっても、貴重な経験として、今後の成長につながるものだと考えています。

さて、本活動の趣旨である「地球温暖化問題」と新たに加えられた「世界の平和」はそれぞれが「子どもたちの未来」に密接に関わる問題です。

子どもたちの未来の夢を応援し、実現させるためには、現在の大人である私たちが考えを深めたり、行動に移すだけでなく、当事者である子どもたちも、まずはそれらに対し考えを深める必要があります。

そういった意味で、この日が子どもたちにとってきっかけの1日となることを願うとともに、キャンドルナイトの成功をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。